



お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。

みなさんが たくさんの幸せに包まれる 1年になりますように



いきいき応援隊の笑いヨガで
笑顔溢れるふれあいいきいきサロン

今年も幸せ探しをしようと思いが、当たり前と
思っている日常、朝起きて朝食をいただくこと、外に
出て季節の風や移り変わりを感ぜられること、連絡
する相手や話ができる人がいること、実はそれが幸せ
ではないだろうかと感じています。幸せは特別なもの
ではなく当たり前の中にあるのではないのでしょうか。
どうぞ本年もなお一層のご支援とご協力をお願い
申し上げます。

昨年はいくつかの各地区社会福祉協議会、老人会、ボラン
ティア団体等の催しに出席いたしました。その中で
女性に比べ、男性の参加が少ないと感じました。男性
のもつ気質もあるかと思いますが、集いは生きている
ことを実感できる場でもあるので一歩踏み出してほし
いものだと同性として感じました。催しでは多くの
関係者の方がその活動をサポートされています。いず
れサポートしている側が、サポートされる側になる、
遠くの親類より近くの他人というシステムを構築して
いくことが持続可能な福祉コミュニティにつながるこ
と確信しています。

先ずき不透明な時代ではありますが、私たち諫早市
社会福祉協議会といたしましては、本年も計画的に、
市民の皆様に住みやすい地域づくりの促進に職員一同
努めて参る所存です。

また、旧年中は、本会の事業活動の推進に對しまして、
多大なるご支援、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。
長引くコロナ禍も一応の落ち着きを見せ、人も経済
も動き始めました。その矢先、元日の夕方、石川県
能登地方を震源とする大きな地震が起き、大規模災害
が発生しました。被害を受けた皆様には、心より
お見舞い申し上げます。

満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げ
ます。



新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、希望に
います。

社会福祉法人
諫早市社会福祉協議会
会長 寺井 雄一

新年のご挨拶



お知らせ あなたの「かんしゃ」募集します

社協広報紙「かんしゃ」の表題の文字とイラストをお寄せください！

■応募方法：右のQRコードから様式をダウンロードしていただき、ご記入の上、社協へ郵送してください。
採用された方にはクオカード 500円分をプレゼントいたします。

今月のイラストは のりさん (12 歳)、文字は 山口 満智佳さん (9 歳) に書いていただきました。
ありがとうございます。



障害のある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら、共に生きる社会（共生社会）の実現に向け、本会では、車いす体験などの「福祉体験学習」を行い、きっかけ作りを行っています。

先日、福祉体験学習を一緒に取り組むボランティアの研修会として、初めて知的障害者について学ぶ内容を実施しました。その研修会の様子を紹介し、一人一人に求められていることを考えていきます。

知的障害とは？

知的機能の障害が発達期（おおむね18歳まで）にあらわれ、日常生活に支障が生じているため、何らかの特別の支援を必要とする状態のことです。

特徴の現れ方は一人一人違い、個人差があります。

知的障害・発達障害疑似体験

長崎市手をつなぐ育成会「長崎よかよか隊」さんを講師にお迎えして行った体験の様子を、抜粋して紹介します。

① ゲナ星人からの指令を伝えてみよう



「ゲナ」としか話せない星人との会話。言っていることが理解できない。伝えたいことを伝えられない。そんな時、どんな気持ちになるか考えます。

③ 不器用になった指でお札を数えてみよう



思うようにできない。そんな時にどんな気持ちになるか、周りの人からどんな声掛けをしてもらったら落ち着くのかを考えます。

～よかよか隊の名前の由来～

障害があっても、できないことが多くても、「よかよか～」と見守ってくれる社会であって欲しいとの思いから名付けられたそうです。

② 指示された言葉を絵に描いてみよう



「ちゃんとして」と言っても「ちゃん」とがなかなか伝わらない。ついつい言いがちな抽象的な表現。どうしたら伝わるのか考えます。

参加者の声



知的障害の特性を理解できた。社会生活を営むなかで、辛い思いをされていることを知った。多様な人たちとの共生を社会が目指しているなかで、具体的な対応について学習できた。

親の想い「彼らの気持ちを少しでも理解し、見守ってほしい」

土井 美由子

今年29歳になる私の次男は、知的障害を伴う自閉症です。特別支援学校の高等部を卒業して、市内のB型就労支援事業所に通っています。

2歳の頃に自閉症と診断され、療育センターに通っていました。何事に対してもこだわりが強く、それに伴う偏食、癇癪（かんしゃく）をおこしてパニックになる毎日でした。ドロドロ感やぶつぶつ感が苦手な程度。衣替えや予定の変更でよく癇癪をおこしていました。こんな生きづらさを抱える息子ですが、親子で創意工夫を試み、以前からするとよく成長してくれたと思います。

そういう子育てをしている間に、



実際に活用していた絵カード

障害福祉も進展しました。なかでも2013年に「障害者差別解消法」が制定され、2021年には障害のある人への合理的配慮が義務化されました。そんな有難い法律ができて、みなさんに理解していただかないと形だけになってしまいます。

これから先、親なき後も地域で暮らしていくには、地域の方の理解と温かい支援が必要です。奇声を上げたり、ぶつぶつ独り言を言ったりする彼らの不思議な行動には理由があります。知的障害や発達障害についてその特性について知っていたら、彼らの気持ちを少しでも理解し、見守っていただけたら嬉しいです。



あなたのしあわせは？

「よるごはんをたべてるとき」
のりさん（12歳）

「合理的配慮」を知っていますか？

私たちの生活の中にあるものは、障害のない人を基準に作られているものが多くあります。そのため障害のある人は生活を営んでいくなかで、様々な障壁（バリア）を感じるがあります。

障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重くない範囲で対応することが、合理的配慮といえます。その合理的配慮によって、その障壁は減らせることができます。

障害への理解を深め、障害のある人の意思を尊重しながら、どんな合理的配慮が必要か、対話をしながら決めていくことが大切です。



例えば？

聞くことが困難な場合、筆談で会話をするなど

具体例など詳しい内容はこちらをご覧ください



障害のこと、理解するために

本会では、車いす・視覚障害者・高齢者の「福祉体験学習」の出前講座を行っています。来年度からは、諫早市手をつなぐ育成会（親の会）と一緒に知的障害の疑似体験を新たに実施していく予定です。

障害のあるなしに関わらず、誰もが地域で暮らしやすい社会の実現に向けて、まずは理解することから始めてみませんか？

その方法を一緒に考えます。お気軽にご相談ください。

【諫早市社会福祉協議会】TEL：0957-24-5100

Nothing About Us Without Us!

私たちのことを、私たち抜きに決めないで！

障害者の権利に関する条約を策定する中で、キキ・ノルドストロームさんが語ったスピーチが多くの人々の心をとらえました。障害のある人の思いを考える上で、重要なフレーズです。



令和5年度 障害者美術手工芸作品展 ～心の花展～



障害者の日頃の創作活動による作品を展示及びインターネットでの公開をします。

作品展示	展示期間：令和6年2月29日(木)から 3月7日(木)まで 午前10時～午後4時 ※3月3日(日)は休館日のため除く ※最終日3月7日(木)は午後1時まで
	展示場所：地域福祉センター 上山荘
WEB展示	公開期間：令和6年2月19日(月)から 3月15日(金)まで
	公開場所：諫早市社会福祉協議会ホームページ



心のごもった作品が勢揃い！ぜひ、ご覧ください。



仲間募集 上山荘講座 陶芸教室

開催日時：毎週水曜日 午前10時～午後3時

参加費：上山荘の入館料として160円
※別途材料費が必要

対象者：諫早市に在住する60歳以上の方
募集人員：2名程度（応募者多数の場合は抽選）
抽選でもれた方は令和6年4月から1年間名簿登録します

募集締切：令和6年2月29日(木)

【申込先】上山荘 ☎ 23-2488

傾聴を学ぼう

傾聴ボランティア「きくの会」が、傾聴についての基本的な技法を、実践を交えながら学ぶ研修会を開催します。



日時：令和6年3月16日(土)
午後1時30分～3時30分

場所：たらみ図書館 研修室
(諫早市多良見町木床2002番地)

講師：鎮西学院大学 社会福祉学科
開 浩一氏

【申込み・問合せ先】宮崎 090-4805-6462

あなたのしあわせは？

「生きていることに幸せ」
山口 満智佳 さん (9歳)

地区社協情報便

第10回

「共に支えあい
安心して暮らせる地域を目指して」
飯盛地区社会福祉協議会

飯盛地区は、自然がいっぱいで穏やかな地域です。飯盛東小・西小学校区の17自治会からなり、南岸を橘湾に臨み、西は京都の長崎市に隣接。丘陵地帯の牧野大地は、野菜などの宝庫で、露地野菜も栽培されています。また、田結浮立やペーロンなど伝統文化が伝承され、地域の絆も深い地域です。

地区社協では、「住民同士のふれあいや見守り活動として、「ふれあい食事サービス」「ふれあいきいきサロン」「子育てサロン」「ひとり暮らし高齢者の集い」等の事業を実施しています。ここ二三年ぐらい新型「コロナウイルス」感染症の影響で、思うように出来なかった事業もありましたが、「地域とは繋がりたい」との思いから、地域や学校のできごと等を掲載し、内容を充実させた広報紙(8ページ)を発行し続けました。

四年ぶりに開催できたひとり暮らし高齢者の集いは、催し物の内容も盛りだくさんで、参加者の顔を眺めてみようと、にこにこ笑顔で、会場内も明るい雰囲気になりました。笑顔と拍手が絶えない交流会となりました。日頃は、住み慣れた地区で、ふれあいきいきサロン等に参加され、楽しく過ごされていると思いますが、この交流会は、他の地区の人と久しぶりに再会できる機会でもあり、この集いの場を待っていた人も多かったと感じました。

諫早市社会福祉協議会だより **かんしゃ**

■執筆

飯盛地区社会福祉協議会

会長 平古場 敏則

■令和5年度取り組む事業

- ・ふれあいきいきサロン(18箇所)
- ・子育てサロン(2箇所)
- ・ふれあい食事サービス(11回)
- ・ひとり暮らし高齢者の集い
- ・広報紙発行

毎月一回のふれあい食事サービスは、見守りや安否確認を兼ねてお弁当を配布しており、楽しみにされている高齢者も多く、今後も継続していかなければならない事業と思っています。

このように地区社協の事業が展開できるのは、地域住民のご支援と、民生委員・児童委員協議会を始め、自治会、老人会、ボランティアなど多くの団体の協力があったこととあります。現在、社会は少子高齢化し、人口減少が進んでおりますが、住みなれた地域で地縁を生かし、これからも、地域の皆さんと共に支えあい、安心して暮らせる地域づくりを目指して活動を続けていきたいと思っております。飯盛地区社会福祉協議会の活動に對しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。



笑顔で楽しむ高齢者
ひとり暮らし高齢者の集いの様子

ご寄付ありがとうございました

次の皆さまから、心温まるご寄付をいただきました。
ご厚志に沿うよう地域福祉事業のため大切にさせていただきます。

令和5年12月1日～令和5年12月31日受付分

篤志寄附

- ▶ 花柳流紗々会 様
- ▶ 神崎ディーゼル整備 様(有喜町)
- ▶ 諫早三曲会 様
- ▶ 都山流尺八 禅浄会 様

物品寄附

- ▶ 内野 信廣 様(久山町)
- ▶ 長崎県南部地区郵便局長会
諫早市第一部会 様
- ▶ 生長の家諫早道場 様(泉町)

編集 発行

社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会

〒854-0045 諫早市新道町948番地
TEL0957-24-5100 FAX0957-24-5101
ホームページ <http://isahaya-shakyo.jp>
(諫早市社会福祉協議会で検索ください)



Follow me



2月のふれあい福祉相談

財産、権利擁護など、法律上の悩みごとなどをおたずねください。(10日前の予約が必要)

無料専門相談	開設日	2月15日(木) 弁護士
	開設時間	午後1時30分～4時
	場所	諫早市社会福祉協議会 電話 24-5100